

図書館だより

発行:千葉市図書館 <https://www.library.city.chiba.jp/> (10/12よりhttpsとなりました)
千葉市中央図書館 〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7 ☎043(287)3980

内容 【1面】千葉市図書館の公衆無線 LAN 導入について
【2面】レファレンスとは？/レファレンス事例/図書館の評価2019

2020.11 千葉市の全ての図書館が世界と繋がった！！

千葉市図書館では、「千葉市図書館ビジョン 2040」に基づき、図書館を地域における「知の拠点」としていくため、また、新型コロナウイルス感染症対策として、館内検索機以外にもご自身のパソコンやスマートフォンが利用できるように、令和2年11月11日から、千葉市のすべての図書館で、Wi-Fi(公衆無線LAN)が利用できるようになりました。

お手持ちのパソコン・スマートフォンなどを使用して、調査・研究はもちろん、インターネットの情報検索・収集にもデータ通信量を気にせずご利用できます。

分からない用語の意味を調べてみませんか？

コロナ禍で、遠出は出来ないけど…ガイドブックで旅行気分を味わってみませんか？穴場スポットも検索して、楽しさをプラスしませんか？

読んでいる本の舞台について、調べてみませんか？

夕飯の献立を考えませんか？料理本の他に、料理サイトも見てみませんか？

気になった作家の他の著書を調べてみませんか？

ループル美術館の情報を見てみませんか？公式サイトは日本語でも表示されています。



裏面では、利用者に対面でお話を聞いて、ご希望の図書を一緒に探すサービス「レファレンス」を紹介しております。ぜひご利用ください。

レファレンスとは？

図書館の資料を使って、利用者の「知りたい」を手伝うのがレファレンスのサービスです。ひと昔前に家電量販店の「コンシェルジュ」が話題になりましたが、レファレンス担当者はコンシェルジュのように、利用者に合わせて最適な図書館の利用と、利用者の知的欲求や探求心を満たすお手伝いを心掛けています。米国の図書館ではレファレンスの事を「インフォメーションサービス」と呼んでいるようです。英語ですが非常に端的に表していると思います。

レファレンス担当者は、その方の「知りたい」を掘り下げることから始めます。たとえば西郷隆盛について知りたくても、西郷の銅像の事なのか、伝記を探しているのか、その辺りから探ります。

ここ数年で、ほとんどの「知りたい」は 구글やヤフーが解決してくれるようになりました。ただしインターネットの情報は、常に更新され、新聞の記事から個人の無責任なツイート(つぶやき)までを、答えの一つとして提示されます。レファレンスでも勿論インターネットも活用しますが、原則は本による情報提供をしており、あなたの「知りたい」を満たす本や雑誌をご紹介いたします。

レファレンス事例

49

自分の誕生日について知りたい

(小学生)

「今日この日に何があったのか」「自分と同じ誕生日の人って誰？」という関心は多くの人が持っていると思います。『まるごとわかる 365日ものしり百科』(日本図書センター)は、12か月を各々1巻とし、1日1〜2ページで毎日の行事や祭り、歴史上の出来事、記念日などを紹介しています。

また『367日誕生日辞典』(日外アソシエーツ)では、旧暦にあった2月30日を含めた367日の1日ごとに、その日生まれた人物を一覧できます。歴史上の人物だけでなく、芸能人やスポーツ選手、小説や漫画の登場人物なども含まれています。

生まれたその日の出来事を調べたいならば、新聞の縮刷版があります。縮刷版とは、新聞の紙面のサイズを縮小して全ページを掲載した書籍です。図書館によってそろえている新聞や所蔵する年月が異なります。また、古い縮刷版は書庫にありますので、お気軽に職員にお尋ねください。

図書館の評価2019

千葉市図書館のサービス向上を図るため、平成二十一年度に策定された「千葉市図書館サービスプラン2010」では、毎年度、具体的に分かりやすい達成目標を定め、計画的に事業を実施し、その事業活動実績について、内部評価及び、図書館協議会(図書館長の諮問機関。学識経験者や市民の方など10名の委員で構成)による外部評価を行い、結果を公表しています。

左記表は、昨年度(令和元年度)実施した67項目の取組について評価されたものです。詳細については、千葉市図書館ホームページに掲載されています。A評価はそれを励みに、B・C評価の項目は真摯にとらえ、これからも、皆様のご期待に応えられるよう図書館サービス向上を図ってまいります。



項目数	内部評価		外部評価	
	A	57	A	53
67	B	8	B	13
	C	2	C	1

評価内容

- A: 計画通りに実施でき、一定の成果があった
- B: 課題はあるものの、概ね計画通り実施できた
- C: 不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった